

## 「農福連携」で地域農業の労働力に

無料職業紹介所

「無料職業紹介所」を開設し生産現場での労働力不足解消に取り組む中、行政と連携して、障害者の就労について探り、県地域振興局が主催で「農福連携による農業人材・労働力確保対策モデル実証」が始まりました。

指定障害福祉サービス事業所「ぴあわーく」の利用者が生産現場で選別や結束作業などを体験し、作業した利用者も「休憩時間など従業員の方々とのお話が楽しい」等と、施設外での様々な業務にやりがいを感じていました。

各方面からの聞き取り調査後、JAを通し生産者に情報提供して、生産者と利用者双方の希望に添えば業務委託契約後作業が本格化します。



白神ねぎの結束作業を務める利用者



普通通りの窓口対応を披露

## 全県No.3の窓口対応!のしろ北支店!!

のしろ北支店

秋田市でJAバンクあきたアカデミー窓口コンテストが9月7日開催され、新規口座開設時の対応等が審査され、県内各JAから12組が参加し、のしろ北支店の佐藤聖子係長と、本年4月に採用された智田優梨さんがJAあきた白神代表として出場しました。

審査員からの講評では「2人のコンビネーションは他JAよりも秀でていた。」と評価され見事奨励賞（3位）を受賞。佐藤係長は「普段通りのコンビネーションが評価されて嬉しい。今後の取り組み方にも自信になる。」と話し、智田さんも「お客様のニーズにあったJAからの情報をこれからも笑顔で伝えていきたい。」と話してくれました。

## 超神ネイガー交通安全を呼びかける

共済課

『超神ネイガー』の交通安全教室を、9月12日にまつばら保育園で開催し、園児68名と、すぎ保育園の園児25名と一緒に、9月21日から始まる「秋の全国交通安全運動」に備えて当地ヒーロー「超神ネイガー」から正しい交通ルールを学びました。

悪役のホジナシ怪人が登場した際には泣き出す園児もいましたが、ネイガーの登場に大喜びし、ホジナシ怪人を倒すシーンでは大歓声が巻き起こりました。

その後、横断歩道の正しい渡り方や、信号機の見方などを教えてもらい、ネイガー達と一緒に横断歩道を渡る練習と、交通ルールを守る大切さを楽しく学びました。



横断歩道を渡る時は、「右見て!」「左見て!!」



消費税軽減税率等について説明する県中央会職員

## 農家の税務申告にかかる負担軽減を

営農企画課

9月19日生産者ら15名が出席し青色申告連絡協議会設立総会が開催されました。

収入保険の加入条件には、青色申告が必須であり、農業者の高齢化、大規模化に伴い経理がさらに煩雑になってきたことから、JAでは昨年度より農業経営管理支援システムを導入し、農家の税務申告の負担軽減に努めてきたが、本年10月から消費税軽減税率等税制が大きく変動することから、農家生産者の税務申告の負担軽減や適性な課税の実現を図ることを目的に設立されました。設立総会では会長に桂田忠雄氏（藤里町）、副会長に戸松義盛氏（能代市）が選任されました。営農企画課長は随時会員を募集し、農家生産者の負担軽減に努めたいとしています。